

私立高校生震災復興・創生支援活動事業（計画・変更計画・実績）書

学校名 八戸学院野辺地西高等学校

1 補助事業

(1) 私立高校生震災復興支援活動

ア 実施時期 平成30年9月15日（土）～平成30年9月16日（日）（1泊2日）

イ 事業の概要「熱気球係留フライト体験による慰問活動」

ア.私立高校生の所属、人数

ものづくりクラブ 生徒3人、熱気球クラブ 生徒3人、引率教師4人  
計10人

イ.私立高校生の派遣先

岩手県下閉伊郡山田町（町民グラウンド野球場、お祭り広場等）

ウ.私立高校生の活動内容

熱気球の係留フライト体験、電動機関車、UFOキャッチャー、ロボットアーム等出展し被災者の大人から子どもまで笑顔で楽しんでいただいた。

(2) 被災地復興状況学習活動

ア 実施時期 平成30年10月25日（木）

イ 事業の概要「復興支援事業報告会・講演会」

全校生徒並び全教職員の前で、「熱気球フライト体験」や、「ものづくりクラブが制作した電動機関車、UFOキャッチャー、ロボットアーム」を慰問活動に出展し、天気にも恵まれ例年以上の来場者数で賑わった様子を撮影編集し動画などで紹介された。

講演では被災地の山田町町長「佐藤信逸氏」を講師に招いて、「山田町の復興計画と、その進捗状況」と題して講演された。震災時の山田町の様子や現在の復興状況をはじめ、二度と津浪による犠牲者を出さないための「命を守る町づくり」について、話され最後には、「将来自分の子どものためにも防災の意識を持つことが大事」そして、若い人たちにはもっと被災地に訪れ、現地の方々との交流を深めていただきたいと生徒達に熱いメッセージが送られた。





